

2013年度 前期			リフレクションペーパー				
学科名	情報学科						
科目名	上級プログラミング I						
科目区分	専門科目	単位数	1	開講時期	1年前期		
必修・選択の別	選択						
担当者	勝瀬郁代・中村貞吾						
授業の到達目標 (シラバスから)	・Java言語によるプログラムの作成から実行までの作業内容が実際に出来る。 ・変数の役割や型について理解し、プログラムを作成できる。 ・式や演算子を理解し、プログラムを作成できる。 ・変数と制御構造を用いた基本的なプログラム(教科書の例題と同程度)を作成できる。						
日程と内容	第1回：本講義のガイダンスを行う。Javaによるプログラム作成の手順と画面への出力についての演習を行う。 第2回：インデント、コメントのつけ方、文字列・文字・数値リテラル、特殊文字について演習する。(2.2, 2.3) 第3回：変数の宣言および代入方法、キーボードからの入力方法について演習する。(3.1, 3.2, 3.3, 3.4, 3.5, 3.6) 第4回：式と演算子の種類と使い方について演習する。(4.1, 4.2, 4.3, 4.4) 第5回：if文、if～else文と関係演算子について演習する。(5.1, 5.2, 5.3, 5.4) 第6回：復習 第7回：switch文について演習する。(5.5) 第8回：論理演算子について演習する。(5.6) 第9回：for文について演習する。(6.1) 第10回：while文について演習する。(6.2) 第11回：文におけるネストについて演習する。(6.4) 第12回：break、continueについて演習する。(6.5) 第13回：総合演習 第14回：総合演習 第15回：総合演習						
成績評価基準	定期試験			実技			
	臨時試験			部外評価			
	報告書・レポート			プレゼンテーション			
	課題演習	100%		計	100%		
授業到達目標の達成度	普段の授業を出席をしていた受講生は全員合格しており、合格者の平均評価は87.6点と高いので、十分に達成したといえる。						
反省点	後半になると、クラス内で習熟度にばらつきが目立ち始める。吹きこぼれている受講生に対応するために、少し骨のある問題を出题すると、平均以下の受講生から苦情が来る。かといって、能力別のクラス分けをすれば、能力差はますます広がる一方となる。毎年、頭を悩ませるが、解決策は見つからない。						
来年度の計画	おおよそ、今年度の方法を踏襲して来年度も実施する。						
授業評価アンケートに対するコメント	「授業の内容を理解できましたか」の設問に対する平均値が3.9、授業に対する総合評価が7.9と、プログラミングI演習に比べれば若干低下しているが、プログラミングI演習が基礎練習であるのに対して、本科目は発展練習を含むため、まずまずの評価を受けていると思う。						
履修登録者数	69 名	定期試験 受験者数	66 名	合格者数	66 名	合格率	100%